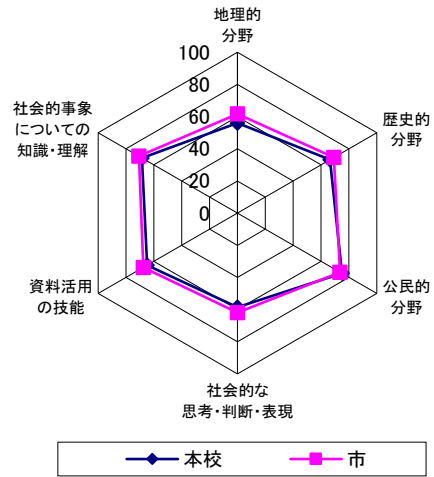


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	56.0	61.7	54.6
	歴史的分野	66.3	69.2	59.6
	公民的分野	75.0	73.6	67.8
観点別	社会的な思考・判断・表現	58.5	61.9	51.9
	資料活用技能	64.8	67.7	57.7
	社会的事象についての知識・理解	68.6	70.7	64.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>○身近な地域の調査に関しては、地形図の読み取り・地域調査の仮説ともに、参考値を6ポイント以上上回り、市平均も上回った。</p> <p>○日本周辺の海流名や、雨温図を通しての日本の気候の特色についても、概ね理解できている。</p> <p>●アフリカ州・北アメリカ州、近畿地方についての学習内容の定着が不十分である。</p>	<p>・世界の諸地域・日本の諸地域において、州・地方ごとに整理し、地図の読み取りや基本的な地名・地形の理解を高めるよう指導する。</p> <p>・資料から考察する学習を取り入れていく。</p>
歴史的分野	<p>○歴史は全体的にみると、参考値を約4ポイント上回っている。特に、奈良時代の政治の定着率が高く、参考値を20ポイント以上、上回る結果が出ている。</p> <p>○江戸時代以降の事象では、複数の資料から情報を読み取り、正解につなげることができ、市平均を上回ることが多くなっている。</p> <p>●日本と東アジアの交流については、参考値を下回り、他国との関係について定着できているとは言いがたい。</p>	<p>・年表等を活用し、日本の動きと世界の動きを並列にまとめさせ、文化や政治など日本と世界の関りをとらえさせていく。</p>
公民的分野	<p>○公民的な分野は、人間の尊重と日本国憲法についての出題では市平均を全て上回るなど、概ね良好である。特に国の政治のしくみにおいては、議院内閣制など比較的難度の高い問題も、市平均を8ポイント上回ることができている。</p> <p>●地方自治の直接請求権についての定着は、参考値を上回るものの、市平均を下回っている。</p>	<p>・直接請求権のしくみを表にまとめるなど、学習内容を整理して確認していく。</p> <p>・現代の民主政治や経済の課題など、自身の言葉でまとめ発表させるよう指導していく。</p>